

Arctera System Recovery™ ライセンスガイド(改訂2)

本資料は、Arctera System Recoveryの販売と見積りを支援することを目的とし、使用可能なライセンス、メンテナンスプログラムについて説明しています。価格およびSKUについては、WEB など最新の価格表を参照してください。本資料は予告なく変更されることがあります。

• 改定履歴

版数	発行日	改定履歴
Arctera System Recovery ライセンスガイド	2025年5月	<ul style="list-style-type: none"> 製品名として極力「Arctera System Recovery」を記載しています 本ライセンスガイドからバージョン番号の記載を省略しています <p>※リンク先URLは従来の「Veritas」のURLをそのまま採用しています。変更があれば随時変更します。</p>
Arctera System Recovery ライセンスガイド改訂 1	2025年6月	<ul style="list-style-type: none"> P5,6: 文言の一部修正、永続ライセンス販売終了に関する記載を明記 P7,P15: SCLへのリンクを、全バージョンをご案内しているKBへのリンクに修正 P8: 「購入プログラム」ACD/GOV終了と同時にコーポレート表記もなくなり区別がなくなったため、このスライドを削除 P12: 「アップグレード資格」、「アップグレードの仕組み」の説明をマージし、よりシンプルに記載 P15: 「サポート複数年契約の注意事項（永続ライセンスの場合）」永続ライセンスの新規・追加が終了している注意書きを追加 P14: 「サポート契約レベル」の「エッセンシャルサポート」に「24 時間365日の更新とパッチの提供」を明記
Arctera System Recovery ライセンスガイド改訂2	2025年12月	<ul style="list-style-type: none"> P11: サブスクリプションライセンス更新手続き後の作業ご案内の説明を追加

目次

1. Arctera System Recovery	頁
Arctera System Recoveryの主な機能	<u>4</u>
Arctera System Recovery 24の新機能	<u>5</u>
Arctera System Recovery 24サポート対象外の機能	<u>5</u>
ライセンスモデル(Edition)	<u>6</u>
Server Edition, Virtual Edition, Desktop Editionとの機能比較	<u>7</u>
2. Arctera System Recoveryのライセンス	
ライセンス数の決定方法	<u>8</u>
System Recovery 23から新たに採用されたSLFファイルについて	<u>10</u>
ライセンスの並行使用について	<u>11</u>
サブスクリプションライセンス失効時の動作について	<u>11</u>
ライセンスのパブリック/プライベートクラウドでの適用について	<u>11</u>
3. 資格、アップグレード、移行パス	
ライセンスとソフトウェア	<u>12</u>
製品ご購入時の旧バージョンへのダウングレードについて	<u>13</u>
4. サポート/メンテナンスサービスの提供	
サポート契約レベル	<u>14</u>
サポートの複数年契約の注意事項、Webベースのテクニカルサポート	<u>15</u>
製品のサポート提供期間、サポート提供期間一覧、参考情報	<u>16</u>
5. 評価版	
	<u>17</u>

1. Arctera System Recovery™

Arctera System Recoveryは、ダウンタイムの削減とリカバリ時間目標の確実な達成に役立つ、高速で信頼性の高いシステムリカバリを実現します。Arctera System Recoveryを導入すれば、IT管理者は特許取得済みの Restore Anyware 技術を使用して、物理システムや仮想システムを、ペアメタル、異なるハードウェア、遠隔地、仮想環境に高速でリストアできます。

Arctera System Recoveryは、ユーザーの生産性に影響を与えることなく、システム全体（オペレーティングシステム、アプリケーション、システム設定、構成、ファイルを含む）のリカバリポイントをキャプチャします。このリカバリポイントは、直接接続型ストレージ（SAS、SATA、USB-HDD、RDX）、ネットワークストレージ（NAS、SAN デバイス）など、主要なディスクストレージデバイスに手軽に保存できます。システムに障害が発生した場合、時間と手間の掛かるマニュアルでのインストール作業を行うことなくシステムを高速でリストアできます。

Arctera System Recoveryは、百万台以上のシステムの保護に使われている実績があり、安心して信頼性の高いシステムリカバリソリューションとして実証されています。

Arctera System Recoveryの主な機能

高速で自動化されたシステムリカバリ

- 物理システムや仮想システムを、ペアメタル、異なるハードウェア、遠隔地、または仮想環境に高速でリストアします。
- システム全体のリストアにあたり、オペレーティングシステム、アプリケーション、システム設定の手動での再インストールや再設定の必要がありません。
- オフサイトコピー機能を使用して、リカバリポイントをクラウドストレージ、外部ドライブ、ネットワーク共有、またはリモートFTP サーバーに自動的にコピーできます。

仮想変換機能

- 物理から仮想、および仮想から物理へのシームレスな変換を実現します。
- スケジュール設定された物理から仮想への変換により、システムリカバリを即時に実行可能です。
- VMware®、Microsoft®、Hyper-V™、Citrix™、XenServer™を含む、最新の仮想環境をサポートします。

高度なバックアップスケジュール

- ユーザーまたは従業員の生産性を低下させることなく、バックアップの自動実行をスケジュールします。
- コールドイメージング技術により、システムにソフトウェアをインストールせず、ブート前状態のシステムのバックアップをキャプチャできます。
- SmartSector™ および圧縮のデータ削減技術を使用して、バックアップ処理を高速化し、ストレージコストを削減します。

暗号化

- AES 128 ビット、192 ビット、256 ビットのソフトウェア暗号化を提供します。

Arctera System Recovery 24 新機能

- **Arctera ロゴ、デザインを採用したユーザインタフェース**
Arctera System Recovery 24 から Arctera ロゴ と Arctera 社のカラーを採用した新たなユーザインタフェースを採用
- **以下プラットフォームを新たにサポート**
 - **Windows Server 2025**
 - **Windows 11 24H2**
 - **VMware vSphere 8.0 (update 1/2/3を含む)**
 - **Windows ADK Windows 11**
 - **Windows ADK Windows Server 2022 、 2025**

Arctera System Recovery 24 サポート対象外の機能

- **Veritas System Recovery 21 製品サポート終了**
- **バックアップの保管先としてのOneDriveの制限について**
バックアップ対象に OneDrive フォルダが含まれている場合
OneDrive をバックアップの保管先としてサポート対象外
詳しくはこちらのKBをご確認ください。

https://www.veritas.com/content/support/en_US/article.100074153

注) OneDrive フォルダが含まれていないバックアップ対象であれば、バックアップを OneDrive に保管することは可能

その他：サポート対象外の機能

- **注意事項**
 - System Recovery 24 Manager にて System Recovery Linux Edition バージョン 22 のバックアップ保護ステータスを引き続き監視可能
 - System Recovery 24では 32 ビットクライアントについてサポート対象外
 - System Recovery Basic Edition 導入済み環境から Server Edition への直接アップグレードはサポート対象外。Basic Edition アンインストールのうえ新規に Server Edition 導入を推奨 (ジョブ設定や履歴の引き継ぎは不可)
 - Basic Edition で取得したバックアップ (リカバリポイント) は Server Edition から読み出しでリストア可能。Server Edition 導入後にジョブの再設定が必要

ライセンスモデル (Edition)

Arctera System Recovery Server Edition

- Server Edition 1 ライセンスは Desktop Edition 1 ライセンスご使用権利も含む

Arctera System Recovery Desktop Edition

Arctera System Recovery Virtual Edition

- Virtual Edition でサポートされる機能は Server Edition/Desktop Edition と共通
- ライセンスのパッケージングの違いのみ
- ライセンス適用先の仮想ホスト 1 台分の保護 (Hyper-V 仮想ホスト限定) と、同じ仮想ホスト上の Windows ゲスト OS (クライアント OS・サーバ OS) を無制限で保護する権利を含む
- 仮想ホストのために別途 Server Edition ライセンスご購入は不要

Arctera System Recovery Manager

- すべての Edition に含まれる無償の監視・管理ツール

System Recovery Basic Edition : 販売終了 2022 年 8 月

System Recovery Linux Edition : 販売終了 2022 年 8 月

- 更新お手続き 2024 年 3 月にて終了
- Basic Edition 後継 → Server Edition
- Linux Edition 後継 → なし

販売形態

ライセンス販売 (サブスクリプションライセンス)

お客様と販売店様は申込書に必要事項を記入してご発注いただくだけで、電子メールにより最短の納期でライセンス情報を受領できます。

※ライセンス納期は申請内容に不備がなければ、弊社に書類が届いてから 2 営業日ほどで受注処理・納品を完了しております。

お客様は電子メールで受領したライセンス情報を元に専用 Web サイト「Arctera サポート」から、インストールに必要なライセンスキーファイルやインストールファイルをダウンロードいただけます。

System Recovery 永続ライセンス (新規/追加) : 販売終了 2025 年 4 月

永続ライセンス(新規/追加)は、2025年4月をもって販売終了いたしました。

現在は、例外対応期間として、2025年7月31日までは従来通り受注可能です。

なお、保守更新は引き続きご注文いただけます。

注) サブスクリプションライセンスについて

- 永続ライセンスの後継はサブスクリプションライセンス新規ご購入となります。
- 既存で永続ライセンスを保有されている場合も、ご契約情報(ご契約番号、保守期限、お客様情報など)の引き継ぎはできません。(サブスクリプション新規ご購入となるため)

System Recovery DVD メディア (Media Kit) : 販売終了 2024 年 7 月

System Recovery ビジネスパック (旧ボックス版) : 販売終了 2024 年 7 月

Server Edition, Virtual Edition, Desktop Editionとの機能比較

機能	Server Edition ^{*3}	Desktop Edition	Virtual Edition ^{*4}
オンラインでのボリューム単位のバックアップ	○	○	○
フォルダやファイル単位でのバックアップ	○	○	○
スケジュール管理	○	○	○
増分バックアップ	○	○	○
コールドイメージング	○	○	○
ボリュームのバックアップから個別のフォルダやファイル単位でリストア	○	○	○
ボリュームのバックアップからExchangeの個々のメール単位、SharePointのドキュメント単位でリストア	○	○	○
仮想環境へのリストアおよびP2V変換	○	○	○
オフサイトコピー	○	○	○
System Recovery Managerによる監視・バックアップジョブの管理	○	○	○
クラウドストレージ(Azure Blob Storage, AWS S3)に直接バックアップデータを保存	○	○	○
WindowsクライアントOSの対応 ^{*1}	○	○	○
WindowsサーバOSの対応 ^{*2}	○	×	○

*1:「WindowsクライアントOS」とは、Windows 10/11といったOSを搭載したクライアントマシンです。

*2:「WindowsサーバOS」とは、Windows Server 2019/2022/2025といったOSを搭載したサーバマシンです。

- 対応OSに関する詳細は、Software Compatibility List (SCL) - https://www.veritas.com/support/en_US/article.100046309をご確認ください。

*3: Server EditionにはDesktop Editionのライセンスが1本付与されています。

*4: Virtual Editionでサポートされる機能（上記の表）は、Server Edition/Desktop Editionと共通です。一つのVirtual Editionライセンスには、仮想ホスト1台の保護（Hyper-Vの仮想ホストに限る）、同一仮想ホスト上のWindowsゲストOS（クライアントOS・サーバOS）を台数無制限に保護する権利が含まれています。

[Windows Storage Serverに関する注意事項]:

- Windows Storage Serverの最新の対応状況に関しては、上記Software Compatibility List (SCL)をご確認ください。弊社は、本ガイド執筆時点ではWindows Server 2019/2022/2025 IoTを正式にサポートしておりません。但し、Windows Server 2019/2022/2025の通常版とバイナリが共通であるため、通常版と同等の使い方が確認できれば、サポート対応は受け付けます。但し、NASハードウェアに起因する問題は、弊社では対応できませんので、ベストエフォートの対応に限定されます。
- Windows Storage Server については、各OEM提供ベンダーにおいて、サードパーティ製アプリケーションのインストール、使用許諾上認めていない場合があります。事前にベンダー側の使用許諾の内容をご確認いただくことをおすすめします。

2. Arctera System Recovery™のライセンス

ライセンス数の決定方法 (1/2)

エディション	ライセンスメーター	説明
Arctera System Recovery Server Edition	サーバー単位 (物理または仮想)	<ul style="list-style-type: none"> 1サーバーごとに1ライセンスが必要です。保護対象のサーバーの数 (物理または仮想) が、必要なライセンスの数です。 例) 2台の物理サーバーを保護する場合： Server Edition ライセンスが 2つ必要 SRD のコールドイメージング機能 (ソフトウェアをインストールすることなくバックアップを可能にする機能) を使用する場合：保護対象のサーバーごと、またはコールドイメージング機能を使用するシステムごとに、ライセンスが 1つ必要です。 サーバーの移行に使用する場合：保護または移行対象のアクティブなシステム (物理または仮想) ごとにライセンスが 1つ必要です。廃棄した (または廃棄予定の) サーバーをカウントする必要はありません。
Arctera System Recovery Desktop Edition	クライアントPC 単位	<ul style="list-style-type: none"> 保護対象のクライアント PC 1台ごとに1ライセンスが必要です。 例) 保護対象のクライアント PC が10台の場合： 合計10 ライセンス購入する必要があります。 Desktop Edition はクライアント PC 単位でライセンスを付与されるため、何人のユーザーが各クライアント PC を使用してもライセンス数はクライアント PC 台数分です。
Arctera System Recovery Virtual Edition	仮想ホストの 物理サーバー単位 (VMware/ Hyper-V ホストのみ)	<ul style="list-style-type: none"> 仮想ホストサーバーごとに 1 ライセンスが必要です。対象の仮想ホスト上の仮想マシン(Windows のみ)に対し、無制限に保護できます。 例) 1 台の物理ホストサーバーで 10 台の仮想マシンが稼働している場合： Virtual Editionライセンス 1つで済みます 複数台の仮想ホストサーバーを使用している場合：Virtual Edition のライセンスを、保護対象の仮想ホストサーバーの数と同数購入する必要があります。 仮想環境では、Virtual Editionのほうが、仮想マシンごとにServer Edition を購入するより、コスト効果が高い場合があります。 Windows Hyper-Vが仮想ホストOSの環境でVirtual Editionを利用する場合、ホストOSも Virtual Edition で保護できます。 Virtual Edition の保護対象の仮想ホスト上に、物理マシンを仮想変換して移動した場合または仮想マシンから仮想マシンの変換(V2V)で移動した場合でも (例：VMware ESXiの仮想マシンからHyper-V上の仮想マシンへの変換・移動)、仮想変換の対象となる物理または仮想マシンに、Virtual Editionのライセンスを一時的に利用して 仮想変換を実施することができます。

2. Arctera System Recovery™のライセンス

ライセンス数の決定方法 (2/2)

エディション	ライセンスメーター	説明
Arctera System Recovery Manager	Arctera System RecoveryのすべてのEditionに含まれる	<ul style="list-style-type: none">Windowsマシン複数台のバックアップジョブの管理（実行、削除、編集）と監視が可能です。ライセンスは不要です（無償）

System Recovery 23から新たに採用されたSLFファイルについて

System Recovery 23から、新たにサブスクリプションライセンスの提供を開始しました。このライセンスは、Backup Execでも採用しているSLFという形式のライセンスファイルで提供されます。また、このバージョンの永続ライセンス(Perpetual)もSLF形式のライセンスファイルで提供されます。従来のライセンスキー番号を入力する方式はこのリリースから廃止となりました。

SLFファイルと従来のライセンス番号を入力する方式について、以下の点についてご注意ください。

- System Recovery 22/21/18などの従来のバージョンでは、ライセンスキー番号を入力する方式を採用しています。SLF形式のライセンスファイルは、System Recovery 23以降で利用可能なライセンスファイルです。従来のSystem Recovery(例: バージョン22や21) にSLF形式のライセンスファイルを適用することはできません。また従来のリリースに対して、SLF形式のライセンスファイルを提供する予定もありません。
- 従来のSystem Recoveryで使用しているライセンスキー番号を、バージョン23に適用することもできません。
- ライセンスキーは、メジャーバージョンを跨いでの利用はできません（互換性がありません）。例えば、バージョン18のライセンスキー番号をバージョン21に転用したり、バージョン21のライセンスキー番号をバージョン23に転用することはできません。たとえライセンス形式が一緒でも、メジャーバージョン間でのライセンスキーは互換性がありません。弊社のEMS（ライセンスポータル）からメジャーバージョンと一致するライセンスキーの再発行が必要となります。
- Arctera System Recovery 24の永続ライセンスと有効な保守契約を保有しているお客様は、弊社サポートサイト(https://www.veritas.com/content/support/ja_JP/)の「Download Center」、「ライセンスポータル（EMS）」から過去にリリースしたSystem Recoveryのインストールメディアと、ライセンスキー番号を入手することができます。

ライセンスの並行使用について

Arctera System Recoveryでは、旧環境から新環境への「移行」をしやすくするため、60日以内であれば、新旧環境で同一ライセンスキーファイルを使用することを認めています。60日以内で移行目的に限り、旧環境の保守契約を利用して新環境への移行に必要なサポート対応も受け付けます（新環境用の保守契約はこの期間中は不要です）。

但し、60日間を超える場合、また新旧環境の移行が完了した後も、引き続き新旧の両環境を継続して利用する場合は、新環境向けに必要なライセンスと保守をご購入ください。

サブスクリプションライセンス失効時の動作について

サブスクリプションライセンスの契約を更新しなかった場合または失効した場合、失効後、直ちにバックアップを実行することができなくなります（猶予期間もありません）。但し、管理コンソールへのログイン、システム復旧ディスクの起動（SRD）は可能であるため、過去に取得したバックアップからの「復旧」（リストア）を行うことはできます（サブスクリプションライセンスが失効した状態のままでも）。サブスクリプションライセンスが失効しても、すべての機能を利用する権利を失うわけではありません。

ライセンスのパブリック/プライベートクラウドでの適用について

Arctera System Recoveryのライセンスは、物理・仮想・クラウド環境を問わず、共通の型番を採用しています。このため、オンプレミス（物理・仮想環境）で構築した環境を、クラウド環境でも同様に構築し、HW/SWベンダー、ハイパーバイザー・クラウドベンダーもその構成に対してサポートを表明していれば、クラウド環境にも同様にライセンスを適用することは可能です。ただオンプレミス環境とクラウド環境では基盤の違いやハイパーバイザーベンダーやクラウドベンダーの対応方針の違い等により、サポートされる機能に違いが発生する場合があります（例：IaaS環境でのArctera System Recovery Diskによるブートができないなど）。オンプレミスで使用可能な機能がすべてクラウド環境でも使用できるとは限らないため、この点について注意が必要です。詳しくは弊社のコンパチビリティリスト（SCL）やユーザガイド、HW/SWベンダー、ハイパーバイザー・クラウドベンダーが提供する情報をご確認ください。

サブスクリプションライセンス更新手続き後の作業ご案内について

サブスクリプションライセンスの更新手続きを行った後、新たなライセンスキーファイルの作成、ダウンロード、そしてご使用中のソフトウェアに登録する必要があります。詳しい手順はこちらの手順書をご確認ください。

<サブスクリプションライセンス更新手続き後の作業ご案内>

https://www.veritas.com/support/ja_JP/doc/BESR_subupdate

3. 資格、アップグレード、移行パス

System Recovery 22からArctera System Recovery 24に直接アップグレードすることが可能です。サポート/メンテナンス契約の状態によっては、Arctera System Recovery 24に無償でアップグレードできる場合があります。無償アップグレード資格の有無については、次の表を参照してください。

ライセンスとソフトウェア

現在お使いの製品	System Recovery 24へのアップグレード
サポート/メンテナンス契約(保守契約)が有効なSystem Recoveryライセンス	
System Recovery 23/22 System Recovery 21 System Recovery 18 System Recovery 16 System Recovery 2013/2013R2 System Recovery 2011 Backup Exec System Recovery 以前	<ul style="list-style-type: none"> System Recovery 24に無償でアップグレードできます。ソフトウェアは、Arcteraサポートサイトからダウンロードすることにより入手できます。 System Recovery 23/22を使用中のお客様は、Arctera System Recovery 24に直接アップグレードできます。過去の他のバージョンは、直接アップグレードはできず、段階アップグレードが必要となります (例: System Recovery 18 → 22 → 24)
サポート/メンテナンス契約(保守契約) なしまたは期限失効しているSystem Recoveryライセンス	
System Recovery または Backup Exec System Recovery の全バージョン	<ul style="list-style-type: none"> System Recoveryのサブスクリプションライセンスを新規ご購入 (遡及更新が可能な場合もございます)

製品ご購入時の旧バージョンへのダウングレードについて

<永続ライセンス>

弊社の製品に適用するバグフィックスや脆弱性対策は、最新リリースにのみ適用することが基本スタンスとなっています。このため、旧バージョンを利用することは、機能のダウングレードに加えて、セキュリティ上のリスクが高まるため、推奨しておりません。なるべく最新版をご利用いただくことを強く推奨しております。

又、旧バージョンの入手、新バージョンへのアップグレードには、有効なサポート契約を保有されていることが条件となります。お客様のご判断で保守更新を行わず、保守の無い状態で旧バージョンを継続して利用することは可能ですが、この場合、製品に対して弊社からのテクニカルサポートの受付および不具合や脆弱性に対応した修正パッチの入手ができなくなりますのでこの点ご注意ください。このことから弊社としては、保守が有効な状態をご利用いただくことを強く推奨しております。

<サブスクリプションライセンス>

Arctera System Recovery 24のサブスクリプションライセンスを保有しているお客様は、サブスクリプションライセンスの提供が開始されたバージョン23.0までのインストールメディアとライセンスキーファイルをArcteraのライセンスポータル (EMS)から入手することが可能です。ただ上記でも説明した通り、旧バージョンを利用する場合、機能のダウングレードと、最新の脆弱性・バグ修正が適用されていないため、セキュリティ上のリスクも高まります。なるべく最新版をご利用いただくことを強く推奨しております。

4. サポート/メンテナンスサービスの提供

有効なサポート/メンテナンスサポート契約をお持ちのお客様は、Arcteraテクニカルサポートグループに対し、電話やWEBによりお問い合わせのケースを発行できます。そして、電話やEメールでのサポート対応を受けることができます。

Arcteraテクニカルサポートグループにお問い合わせの際には、次の情報をご用意ください。

- サポート契約のサポートID
- ご利用中の製品名及びバージョン、サービスパックやリリースのレベル
- ハードウェア情報（利用可能なメモリ、ディスク領域、NIC情報、など）
- オペレーティングシステム
- ネットワークポロジ（ルーター、ゲートウェイおよびIPアドレス情報、など）
- 問題/お問い合わせの内容
- エラーメッセージ/ログファイル
- Arcteraのサポートに連絡する前に行ったトラブルシューティングの内容と結果
- 最近行ったソフトウェアの構成変更および/またはネットワークの変更

サポート契約レベル

	特徴
エッセンシャルサポート	<ul style="list-style-type: none"> • サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 • 重大度 1 の障害に対して、レスポンスタイムの目標値 30 分 • 24 時間 365 日の更新とパッチの提供 • 24 時間 365 日の電話対応 (重大度1の障害に対してのみ 24 時間の問題解決に対応。時間外の対応言語は英語のみ。) • 製品タイトルごとのお問い合わせ担当者 (Named Caller) は無制限登録が可能
ベーシックメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> • サポート契約期間中、最新バージョンへのアップグレードの無償提供 • 重大度 1 の障害に対して、レスポンスタイムの目標値 は 1 営業時間内 • 24 時間 365 日の更新とパッチの提供 • 営業時間内（弊社営業日 9:00-18:00）のコールセンターへの問い合わせ • 製品タイトルごとのお問い合わせ担当者 (Named Caller) は無制限登録が可能

サポートの複数年契約の注意事項

契約年数	ご発注頂く製品/サポートの組み合わせ（サブスクリプションライセンスの場合）
1年	12ヶ月（1年分）のサポート付ライセンス
2年	24ヶ月（2年分）のサポート付ライセンス
3年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス
4年	48ヶ月（4年分）のサポート付ライセンス
5年	60ヶ月（5年分）のサポート付ライセンス

注) ご利用頂く製品のサポート提供期間は、ご契約いただいたサポート契約の年数とは連動していません。必要に応じ、サポート契約により無償で提供される最新バージョンへのアップグレードをご利用ください。

契約年数	ご発注頂く製品/サポートの組み合わせ（永続ライセンスの場合※注2）
1年	12ヶ月（1年分）のサポート付ライセンス
2年	24ヶ月（2年分）のサポート付ライセンス
3年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス
4年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス + 12ヶ月（1年分）の更新用サポート契約
5年	36ヶ月（3年分）のサポート付ライセンス + 24ヶ月（2年分）の更新用サポート契約

注1) ご利用頂く製品のサポート提供期間は、ご契約いただいたサポート契約の年数とは連動していません。必要に応じ、サポート契約により無償で提供される最新バージョンへのアップグレードをご利用ください。

注2) 2025年4月末にて永続ライセンス（新規/追加）の販売は終了しておりますが、例外対応にて2025年7月末まで従来通り受注可能です。詳しくは、当ガイド P6 をご確認ください。

Webベースのテクニカルサポート

Arcteraは、お客様に最新の情報と案内を提供するために専用のWebサイトをご用意しています。

- テクニカルサポート情報
https://www.veritas.com/content/support/ja_JP
- 最新のソフトウェア互換性リスト (SCL)
https://www.veritas.com/support/en_US/article.100046309

製品のサポート提供期間

製品のサポート提供期間は、Arcteraのライフサイクルポリシー(旧ベリタス)により定められています。詳細は、以下のURLをご参照ください。

Product Life Cycle Policy

<https://www.veritas.com/content/dam/support/terms/Veritas%20EOL%20Policy.pdf>

注) Arctera System Recoveryは、「Veritas Software Products」のポリシーが適用されます。

サポート提供期間一覧

以下の表に記載の無い旧バージョンの標準サポートの提供はすべて終了しています。

バージョン	出荷日	サステイニング サポート開始日	サポートライフ 終了日
System Recovery 23	2022年12月5日	2026年4月7日	2028年4月7日
System Recovery 22	2022年2月7日	2023年12月5日	2025年12月5日

参考情報

サポートが終了した旧バージョンのSystem Recoveryに関する情報

<https://sort.veritas.com/eosl>

上記SORT(Services and Operations Readiness Tool)のリンクから、Productに「System Recovery」を指定すると、過去の製品も含めたサポート日付を確認することができます。

- ### 標準サポート(スタンダードサポート)

製品に対する通常のサポート対応

- ### サステイニングサポート

標準サポート終了後、サポートライフ終了日まで提供される限定的なサポート
既知情報(ナレッジ)をベースにしたサポート対応を提供

- ### サステイニング契約

サステイニングサポートを受けるために追加購入が必要なサポート契約。

※有効な保守契約が前提となります (有効な保守契約 + サステイニング契約)

5. 評価版

System Recoveryの60日間評価版は、ArcteraのWebサイトからダウンロードできます。

URL : https://inform.arctera.io/systemrecovery_trialreg



<https://www.arctera.io/>

Arcteraセールスインフォメーションセンター（法人のお客様向け製品購入に関する相談窓口）

- 電話受付時間：10:00~12:00, 13:00~17:00（土、日、祝日、年末年始を除く）
- 電話番号：03-6705-8903